

第3回 三桜酒造跡地公共活用検討委員会 議事録

1. 開催概要

日 時 令和5年11月8日(水) 18:30~20:10

会 場 浜田市立中央図書館 2階 多目的ホール

参加者 12名

【委員】

(順不同、敬称略)

区 分	氏 名	所属団体等	備考
学識経験者	林 秀司	公益大学法人島根県立大学 副学長	
経済団体	福濱 秀利	浜田商工会議所 副会頭	
	田中 昌昭	石央商工会 会長	
地元団体	飯田 統通	浜田駅前銀天街協同組合 副理事長	
	佐古 肇徳	石見地区自治協議会 会長	
観光団体	江木 修二	一般社団法人浜田観光協会 副会長	
建設・設計 事業者	今井 久晴	浜田市建設業協会 会長	代理出席： 直江
	國分 俊幸	島根県建築士会浜田支部 役員	欠席
地域協議会	村井 栄美子	浜田地域協議会 会長	
	岡本 敬子	金城地域協議会 委員	欠席
	徳川 博	旭地域協議会 委員	欠席
	徳田 マスエ	弥栄地域協議会 会長	
	三浦 幸治	三隅地域協議会 委員	欠席
交流に関係 する団体	端本 千夏	島根県立大学地域活動サークル Go next (コネクト) 代表	
	串崎 舞	一般社団法人浜田青年会議所 理事長	
	三浦 美穂	浜田女性ネットワーク 副会長	

【事務局】

部 署	職 名	氏 名	備考
浜田市産業経済部商工労働課	課 長	大屋 一幸	
〃	専門企画員	田倉 大輔	
浜田市地域政策部関連施設支援室	室 長	宮崎 良一	

〃	専門企画員	大田 崇正	
---	-------	-------	--

【調査委託会社】

会社名	氏名
株式会社エブリプラン	森田、鶴見、武田

2. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 報告事項
 - ・アンケート・ヒアリング結果及び第2回検討委員会での主な意見
- 3) 協議事項
 - ・利活用の方向性（案）に関する意見交換
- 4) 閉会

3. 配布資料

次第

委員名簿

配席図

三桜酒造跡地における公共活用方針検討委員会 第3回資料【資料1】

三桜酒造跡地公共活用検討委員会 提言書（案）【資料2】

4. 議事

1) 開会

2) 会長挨拶

林会長より挨拶を行った。内容は以下の通り。

発言者	要旨
林会長	今回もお集まり頂き感謝する。 第2回の委員会ではグループに分かれて意見を出してもらった。今回は以前実施したアンケート調査とあわせて作成してもらった案を中心に議論していくので、忌憚のない意見を頂戴したい。

3) 報告事項

事務局より、報告事項の(1)について、配布資料1（～11ページ）に沿って説明を行った。質疑・意見は出されなかった。

4) 協議事項

事務局より、協議事項の(1)について、配布資料1(12ページ～)に沿って説明を行い、意見交換を行った。質疑・意見は以下の通り。

発言者	要旨
委員	30年近く前に、三桜を含む駅前の絵を描いているが、当時どういうイメージを抱いていたのか。
委員	当時は、中心市街地活性化のTMOという手法で、三桜の酒蔵を中心とした再開発の絵を何枚か描いた。人を集めるために石見神楽ができる施設があったほうが良い、賑わい創出のためにカフェや屋台村を併設した方が良い、という形で、旧本宅はあまり考えていなくて、ただ小さな造り酒屋風の実験的に作れば良いという話だった。なぜ頓挫したのかというと、誰が事業主体になるかがはっきり言えなくて、旧地主の●●●●さんが「誰が責任をもってやるかわからんようなものには乗れない」ということで、そこで話がぶちっと切れた。
委員	参考になった。
委員	推薦団体としての意見を出せということなので、商工会議所の委員会で議論した。ここは駅前の顔になるゾーンであり、商業地区と文教地区との結節点にあり、なおかつ他の商店街とも接続があるので、賑わい創出については皆さん何も異議はなかった。ただ公共事業でやることについては様々な意見があり、商工会議所としては、公共事業で結構だが、PFIの手法を採用して頂きたい。PFIというのは、民間の資金と経営ノウハウを活用して、公共施設の設計・建設・改修・更新を、運営を含めて行っていくもの。浜田では旭の矯正施設が成功事例。エブリプランにも関わってもらっている。あくまで地方公共団体が発注者となって公共事業として実施するので、市長の方針に即していると思うし、ハコモノを行政が作って運営していくことに対するアレルギーもあろうかと思うので、これを払拭する案として、ぜひPFI方式を採用頂きたい。今まとめて頂いた活用イメージを仕様として、PFIの参加事業者を、できれば地元事業者に頑張ってもらいたいが、公募するという形はどうだろうか。
林会長	●●委員に確認だが、活用イメージについては合意できる、具体化に向けた検討課題の1点目に記されていることをより具体的に提案頂いた、という理解でよいか。
委員	はい。
委員	ふるさと納税の約7.6億円の使い道について、第1回で市長が、神楽館を作ることに對して寄附があるから、そこに縛られるようなものを作る、という

	<p>ことだった。寄附があったから今回の事業がスタートを切れたようなところがあるので、そこに縛られるのか。今回、市が民間のものを買って、検討委員会を開くということが画期的なことではないかと思っている。神楽館を作ることに、寄附を意識しすぎるのも問題だと思うが、銀天街はどんちっちタウンというネーミングをして20年近くになるが、神楽と切っても切れない関係。そこから300～400メートルのところに神楽館ができるのは素晴らしいことと常々思っている。●●委員が言われたが、それよりも前からすでに、酒蔵周辺に、神楽館、あるいは石見神楽の舞を観られる施設を作るという提言がずっと言われてきたので、念願が叶う。酒蔵と石見神楽のイメージが強かったのは間違いない。</p>
事務局	<p>ふるさと寄附をして頂くに当たっては使い道の設定がある。その中に、石見神楽や伝統芸能のためにという項目があるので、神楽伝承館を建てる場合はその寄附の活用を考えている。今回の検討委員会の結果を受けて、別の整備をすることになった場合は、財源はあわせて検討する。したがって、議論が縛られるわけではない。</p>
委員	<p>女性ネットワークとしての意見をまとめる段階には至っていないが、私個人としては、石見神楽は浜田の誇る、地元で根付いた素晴らしい文化なので、これをきちっと継承していくには、建物も必要と感じた。しかし他の人に聞くと、今必要なのか、負の遺産を次の世代に残すことになるのではないかと、三宮神社で奉納神楽をやるのがいいんだからあそこをちゃんと整備すべきではないか、支所にあるお祭りやイベントで舞う神楽ももっと大切にすべきではないか、など様々な意見があった。中には、福祉の充実のために予算を使うべき、神楽はもっと先でいいのではないかと、という意見もあった。気になったのは、神楽団体のヒアリングで、奉納型の伝統的な石見神楽を継承していくための機能を希望する、賑わい創出を目的に、多用途の施設を設置し、その一部に石見神楽伝承施設の機能を包含するといったような考え方は好ましくないと。これが神楽団体関係者の意見として出ている。市長は神楽団体にも了解頂いて提案したと言っていたが、これをどう捉えたらいいのか悩んでいる。まず神楽団体の方達から前向きな雰囲気が出てこないといけないのに、こういう意見が出ている。市はどうお考えか。</p>
事務局	<p>市長が各地域の神楽団体からご意見を聞いて、細かいところは別として、神楽伝承施設の必要性について、大きく反対される方はいなかったことで、了解を得たということで、市長からそういった話をされた。ただ今回のヒアリングではそういった意見も出ている。これを踏まえて、検討委員会の提言を受けて、来年度以降に市としての方針を示したい。神楽団体の中でも色々な意見があるので、整理して方針を示したい。</p>

事務局	確かにヒアリングの中でそういう意見があったが、神楽団体の総意ではない。こちらから施設の規模などの案も示していない中で意見を伺い、一部にはそういう意見があったということ。
委員	活用イメージが実現すれば素晴らしいことだと思うが、限られた施設の中で、駐車場問題や、交差点付近なので安全性の問題も今後出てくると思う。社会実験とはどういうイメージか。
事務局	ハード整備を先にすると、「もっとこうすればよかった」ということがある。今回は賑わい創出として朝市やフリーマーケットが想定され、担い手の問題もあるので、更地にした段階で、実験的にキッチンカーを出してみても運営上の課題を検証したほうが良い。ルール作りもブラッシュアップしていく。多目的に利用できる空間を整理した中で、社会実験をやってみると色々分かっていくことがある。「毎回テントを出すのは大変だから屋根付きの施設があったほうが良い」など。弊社も現在、平和大通り公園で社会実験のワークショップをやっているが、やりながら考えていくほうが後々スムーズで、賑わい創出にもつながるのではないかと思う。今回の活用イメージはあくまで大きな方針なので、今後のステップの中で3つの丸の比率をどうするかをもう少し時間をかけて考えることになる。具体的に何を作るのかある程度イメージができた中で、社会実験をやると。必ずやるわけではなくて、前回、●●委員だったと思うが、こういう手法もやってはどうかという提案があったので、載せさせてもらった。
林会長	ご懸念は解消されたか。方向性としてはよろしいか。
委員	はい。
委員	三桜跡地は石見文化ホールとワシントンホテルをあわせたくらいの面積がある。ということは、p13に書かれている、石見神楽と浜田らしさを感じる場所、市民がゆっくり過ごす場、公園、サテライトオフィス、常設のカフェではなくてマルシェ、同時にできるのではないかと思う。気になるのは、公共で買って、民間活力をどう展開するのか。マルシェをやりたい、キッチンカーを並べたい、朝市をやりたい、となったときに、公園の許可申請で済むのか、その辺がはっきりわからない。●●委員が言われたように、まず買うなら買う、その上で、PFIで3つの要素を含めた提案をコンペで出してもらって、公共と民間がタッグを組んでやると色んなことができるのではないか。たとえば中央図書館の駐車場が空いている、裏の芝生公園も空いている、ここでキッチンカーを並べてお祭りをやりたいとなったときに、公共だと、人が集まるのにお金が取れない、収益がない形にするとか、公園だから物販は駄目とか、石見神楽だけじゃなくてバンドのフェスティバルをやりたいけどお金を取るから駄目とか、公共でやると規制がかかるので、うまく

	一緒にできるような手法を新たに考えるべきではないか。公共 100%でやるとがちがちの施設になって何もできないので運営自体が難しくなるのではないかと感じた。
委員	●●委員も言われた駐車場の件について、これくらいの施設を作るならこれくらいの駐車場が必要という考えになりがちだが、面で考えて頂きたい。周辺に民間の駐車場がある。たとえば広島のスッカースタジアムは一般用の駐車場がない。周辺の駐車場を使うことで渋滞も起きにくい。最近のまちづくりの方向性も、自己完結ではなく、面で考えて、どう呼び込むかという考えが進んでいる。周辺も含めて考えるべき。
林会長	●●委員が補足されたことは検討課題の4点目に通ずる。書きぶりはこれでよいか。●●委員も書きぶりとしてはこれでよいか。
委員・委員	はい。
事務局	●●委員と●●委員が言われた話は、具体化に向けた検討課題に通ずる話かと思う。こういう形で皆さんから提言を受け、来年度以降、市が整備する場合、民間活力の活用手法をどうするか、駐車場をどうするか、料金をどうするか、その辺りも含めて、提言が出たのちに整理して、方針を示したい。
委員	活用イメージの3つを全部まんべんなく取り込むと敷地が狭いように思う。石見神楽の伝承館は、本格的なものが必要なのか。新聞に歴史資料館建設の話が出ていたが、神楽資料館を単独でやるには無理があるから歴史資料館と一緒に考えてはどうか。ここで本格的な神楽資料館を建てるには面積が足りないのではないか。
事務局	神楽伝承施設を三桜跡地に建てることについては、スペースの懸念も踏まえて、適地について比較検証した上で検討して頂きたいという提言案のまとめ方としている。この提言を受け、市として今後の方針を示したい。
委員	今の話だと、目的からもう一回考えないといけなくなる。目的は市民の賑わい創出。そこを外して、神楽施設を作ることにはならないのではないか。
事務局	あくまでも、三桜跡地の活用の方針としては、活用イメージにもあるとおり、賑わいが創出できる場、市民も観光客も浜田らしさを身近に感じる場というイメージで進めて頂きたいというまとめ方。その中で、神楽伝承施設を持ってくるのであれば、スペースの問題はどうか、賑わい創出につながる施設として考えられるのか、適地も含めて比較検証をして、次の方針を考えて頂きたいということを検討委員会として提案したらどうかというまとめ方にしている。あくまでも三桜でやるのであれば、市民や観光客の賑わい創出。その中で、伝統文化などを維持管理も含めて継承できる施設があっても良いとは思いますが、賑わい創出につながる施設として本当にこの場所で良い

	のかということも検討してもらった上で進めてほしいというまとめ方。更に市長の言った3つの候補の中で、三桜跡地で良いのかしっかり検証してほしいというまとめ方にしている。目的は変わってはいない。
委員	跡地が1300坪あり、思ったより広いなという印象を受けている。石見神楽伝承館のギャラリーはどのくらいのスペースをイメージしているのか。三宮神社は50席くらいかと思う。席という見方が良いのか、フリーにして飲食しながら気軽に観れるようにするのか。どれくらいのキャパシティをイメージしているのかわからない。
委員	客席が100～200席と、舞台があって、200～300坪。展示を50坪としても、1階平面で300坪あればできる気がする。それに公園又はインターロッキングを敷いたようなテラスがあって色んなことができる。250～300坪あれば。イメージとしては石中央文化ホールの右側くらいの大きさがあれば十分入ると思う。そこに、お金をかけずに色んなことができる広場を併設するのが一番良いのではないかと思う。
林会長	分けて議論しようと思っていたが、石見神楽伝承施設についても説明を。
事務局	(資料に沿って説明)
委員	よくわからないのが、神楽伝承施設の候補地がいくつもあるのか。我々は跡地利用を考えるために集められたメンバー。そこに市長は神楽伝承施設を作りたいと。そこは、一緒にできれば良いよねという意見があって、なおかつ駅前にはどんちっちのランドマークがあって、より神楽感が増えて良いじゃないかということだが、たとえば神楽伝承施設はここじゃないとなったときに、どこか他の場所に作るのか。そのイメージが湧かない。
事務局	第1回の資料6で、候補地として、浜田城資料館の隣接地、はまだお魚市場の駐車場の一角、三桜酒造跡地、この3つを市長は考えていると。その中で、検討委員会として、三桜酒造跡地を候補地として加えても良いかという検討をお願いした経緯。
委員	それであれば、施設の概要がこの資料に出ているので、それを前提に判断すべき。皆さんの頭の中で施設のイメージがバラバラかもしれないので、結論は出ないと思う。
委員	私も1回目は出ていなかったが、結論が出ているのではないか。三桜酒造跡地しかないのではないか。他の2つは津波で駄目になる場所。議会で否定された場所。
事務局	神楽伝承施設を三桜酒造跡地に作るのが検討委員会の目的ではない。賑わい創出が目的。その中で、せっかくここを公共用地として取得するのであれば、市長は賑わい創出ができると考えているので、その候補地の一つとして考えてもらえないかと。この3つの候補地も、市長が考える候補地なので、

	他の場所も色々あろうかと思う。それらも含め、今回の方向性の案として、適切な場所を比較検証して考えるべき、という提言でどうかという提案。これまでのアンケートやヒアリング、皆さんからの意見を踏まえてまとめましたという説明をしている。なので、これで「神楽伝承施設は三桜酒造跡地で決定」とは事務局としては思っていない。あくまで候補地の一つとして検討は進めて構わない、しかしこの2点については考慮してください、というまとめ方にしている。
委員	今回の資料は、コンサルの意思なのか、事務局と話をしてまとめたものなのか。
事務局	事務局とコンサルと一緒に協議してまとめたもの。
委員	市長にもこの資料を見せて、了解したものなのか。
事務局	市長にも説明し、確認を得ている。
委員	候補地が他にもあるという話よりも、三桜酒造跡地で神楽伝承館が適地だと思うか検討してくださいとはっきり言った方が話が早いのではないかと。要するにまどろっこしい。今までの過程を見ると、「検討のお願い」と書いてあるのだから、これ一本で行く方がわかりやすい。検討委員会が賛成したのか反対したのかを決めていく方が話が早いのではないかと。
委員	それだとアンケートを無視することになる。
委員	アンケートを頭に入れながら検討すればいい。ただ、どういうイメージのものがあつた場所にできるのかという、イメージ作りがまだできていない。3つの丸を全部入れるのはちょっと難しい感じもする。
事務局	今年のミッションは、あくまでも三桜酒造跡地の有効な利活用計画はどういうものなのかということで、そのためにアンケートやヒアリングをした。神楽伝承施設という提案もあったので神楽団体へのヒアリング調査も行った。ただ、あくまでもこの土地利用として可能性があるかという視点での検討を進めてきた。アンケート調査や第2回検討委員会の場でも、神楽伝承施設はここが最適なのかという意見もあって、もしそれを検討するのであれば、そういう方向でもう一度検討し直さないといけない、2ポツ目の適地調査をしっかりとやらなければならないと思う。ただ、今回の検討委員会のスタートと違うので、提示する資料も違っていたと思う。神楽伝承施設がここで良いかどうかを諮る検討委員会であれば、別の進め方をしなければならなかった。今回の検討委員会では、公共的に利用するという事の中で、どういう方向性があるかということで、幅広く市民にアンケートした上で、検討委員の皆さんがどういう意見でもってやるのかということであって、たとえば前回の委員会の中で、全員がここに神楽伝承施設を作るべきだという意見であれば、そういう方向で整理することもできたが、今年はあと1回

	<p>しかないので、もう一回そこから汲み上げていくということではなくて、可能性として、作ったらどうかという意見もあるし、もう少し待ったらどうかという意見もあるし、そこはもう少し時間をかけて議論をした方が良くと思い、この検討委員会の場ではなくて、もう少しそうした調査をした上で検討した方が良くのではないかとということで、このようなまとめ方にしている。先ほど言われた大体のイメージについては、作ることはできるが、この半年・4回の議論で方向性を決めるのは難しいので、改めて検証してもらったほうが良い。</p>
委員	<p>今回は、p15にあるとおり、活用に当たっての基本的考え方にある、「市の内外から多くの人を訪れ、賑わいのある公共用空間」となるように、浜田市が、ここの土地を買収してもいいかどうかというところまでの検討委員会だと思う。</p>
委員	<p>違う。</p>
事務局	<p>●●委員が説明された内容は、p12の、活用に当たっての基本的な考え方。これを検討委員会の提言としていいか、ということ。神楽伝承施設に関しては、市長の「検討のお願い」自体が三桜酒造跡地を候補の一つとして追加していいか、それに対する意見が欲しいということなので、この検討委員会の意見としては、追加することは差し支えない、ただし、p15の2点について考慮して判断してください、というまとめにしてはどうかという事務局案。この四角については、●●委員も言われた市民アンケートの意見などを考慮してくださいということも含んでいると事務局としては考えているので、市民の意見を無視して検討委員で捻じ曲げたとかそういうことはなく、皆さんの意見を踏まえたものと思っている。</p>
委員	<p>そうであれば、冒頭にも言った商工会議所としての意見だが、負の遺産として残ることを市民は心配している。ふるさと納税が未来永劫潤沢にあるわけではないので、民間活力、PFIの手法を一つの候補としてしっかり検討頂きたい。その回答は頂きたい。市民や議会に賛同頂けるか、ここは重要なポイントだと思う。ここはぜひ強く意見として言っておく。</p>
林会長	<p>石見神楽伝承施設の設置についてという市長からの検討依頼について、追加することは差し支えない、ただし2点について十分検討するということ、ある意味条件を付けるという整理でお認め頂けるか確認したい。</p>
林会長	<p>反対の意見は今のところ無い。 全体に戻って、活用イメージはこれで良いか。全員から発言してほしい。</p>
委員	<p>大学生としての意見。市民がゆっくり過ごす、は日常的で良いと思う。マルシェ等の各種イベントの開催は休日で学生としては参加しやすく、実現性がある。私はまつえ土曜夜市に参加しているが、浜田市から団体やキッチン</p>

	<p>カーの参加もあり、石見地方でのキッチンカーやマルシェも盛んなので、需要もあるのでは。懸念は駐車場。土曜夜市では道路を通行止めにしてやっている、マルシェをするのであればそういった配慮が必要では。石見神楽と浜田らしさを感じる場というのは、どれくらいの規模感なのか。日常的にそうするのか、たまに石見神楽を公演するくらいでいいのか、解釈一致はこれから必要ではないかと感じている。3つを一斉にやるのは難しくても一つ一つをバラで考えて取り組むのは実現性があると思うので、活用イメージはこれでいいと思う。</p>
林会長	<p>色々と言って頂いたが、イメージとしては賛同できるということかと思う。</p>
委員	<p>弥栄未来会議の場で説明した。市内に距離があること、高齢者が多いことから、市民がゆったり過ごせるスペースがあったらいい、弥栄から通う子どもたちがバス待ちで勉強できる場所だと良いという意見があった。後は、第1回～第3回で出たような意見を頂いた。</p>
林会長	<p>弥栄の方からすると日常利用するのは難しいが、活用イメージとして受け入れて頂けたということでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員	<p>周布には4団体の神楽社中があるが、賛同する意見が多々あった。日常茶飯事神楽をやるのは自分たちが困る、仕事をしているので難しいという声もあった。展示や、AIなども駆使してみんなが観れるようなものを作って、土日神楽を舞うというのが良いのではないかといいことだった。市民がゆっくり過ごす、心を落ち着かせる場があると良い。周辺部から中心部の都会に出てみたいという声もあった。皆さんと話した感じ、このイメージはありだと思いが、神楽は浜田市民の誇りなので、神楽メインでやるのは良いことではないかと思う。</p> <p>先日、地域で文化祭を開いたが、子どもに神楽衣装を着せるイベントがあった。とても多くの子どもが来て楽しんでいる姿を見て、こういう場所があると賑わいが出るのではないかと感じた。イメージとしては賛成。駐車場も近くにできるのではないかといいのではないかといいと思う。</p>
委員	<p>団体としての意見は、建築・建設側なので控えたい。社会実験は良いことだと思う。p15、委員会としての方向性は、活気が出る公共空間を前面に出して頂いているのは賛成。ハコモノに対する意見も理解している。色々な可能性を模索しながら、賑わいを生むツールとして、建物や神楽を利用するという方向性になると思っている。この委員会としてはここまででよいのでは。</p>
委員	<p>酒蔵の価値を専門家にみてもらってはどうかという話が前にあったが、その話は無しか。</p>

事務局	第2回の冒頭でも説明したが、関係者にもみてもらったが、判断が難しいとのことだった。ただ、建物の解体は所有者の意向であり、特に懸念も伺っていない。
委員	コンサルの公募の段階で、建物はどうするのかという質問があり、基本的には地権者が解体するという回答だった。その前提できている。解体して新しいものを作るという段階に一步進んでいる。思いがあるか無いかの問題。実は自宅用の蔵があり、明治2年に建てたものなので、家引きしてシンボリックなものになればという思いも個人的にはあったが、最初から、地権者にも市にも残そうという気持ちがなかったということ。古いものを大事にする精神が両方に欠けていたということをお願いしたい。
事務局	所有者から市に話があった時点で、解体して土地をとという話で来ている。それ以前に民間売却の話もあったが、その時点でも更地での話であった。市としては所有者からの申し出によって、更地を前提に考えている。議会でもそのように説明している。
林会長	そのような状況なのでご理解頂ければと思う。 三桜酒造跡地を具体的にどう活用するか。規模の詳細など、このあたりは検討委員会ではないところで来年度以降に検討することになるかと思う。提言書についてはこの案でまとめたいと思うがよいか。
委員	これは全会一致か。考え方は基本的には賛成だが、運営手法については条件付きとしたい。
林会長	「具体化に向けた検討課題」という書き方では弱いかな。
委員	手法のところでもオール公共では賛成しかねる。ぜひ PFI 方式を検討くださいということを、商工会議所としての条件付きとする。
林会長	石見神楽伝承施設の設置についても、先ほど確認したとおり、この案でまとめさせて頂く。

5) その他

事務局より、次回検討委員会について案内した。

- ・ 次回は12月7日(木)18:30~場所は今回と同じく中央図書館2階多目的ホールで行う。
- ・ 次回に向けて、本日の意見を踏まえ、提言書の修正を行う。細かな文言修正については会長に一任頂きたい。
- ・ 次回は、これまで行ってきた調査、協議内容の確認、修正後の提言書の最終確認を行う。市長も出席予定なので、確認が取れたらその場で提言書を手交する。
- ・ 次回の資料及び本日の議事録は1週間前を目途に事前配布する予定。

6) 閉会



以上